

# 衆議院山口県第2区・4区補欠選挙立候補予定者公開質問書回答

	お名前	【1】米空軍の戦闘機の配備や巨大艦船の入港の問題について 【1】-(2)意見	【2】日米地位協定の問題について	【2】-(2)日米地位協定のどこが問題か 【2】-(3)意見	
	岸信千世		回答をいただくことが出来ません。		
第2区	平岡秀夫	(a)岩国基地の機能強化にあたり、反対である。	(a)日米地位協定の改正を求める	(a)日本国憲法に反していること、(b)米側に基地の原状回復義務がないこと、(c)米兵・軍属が犯罪や事件・事故を起こした場合の裁判権の問題、(e)日米合同委員会の問題	米国が他の国と締結している地位協定と比較しても、日本にとって不平等な内容となっている。上記の(b)、(c)、(e)の問題の外にも、例えば次のような問題がある。①米軍の「提供施設及び区域」以外の日本国の領域における演習及び訓練の実施は、日本政府の承認を条件とともに、日本の法令を適用する。②米軍への提供施設の利用について、基地所在地の自治体の意見を聴きつつ、定期的に見直す。③米軍が、その活動において環境への影響を最小限にすることを義務付ける。
第4区	有田芳生	(e)その他  私は沖縄立憲民主党の代表として活動し、いまも県連に顧問として関係しています。日本の安全保障問題はその立場で発言してきました。いま「安保3文書」によって大軍拡が進んでいることに反対です。この岸田政権の憲法違反の方向に、野党は真っ向から対峙しなければなりません。沖縄での南西諸島へのミサイル配備などは、アメリカ主導の「台湾有事」議論に引きずられたものです。辺野古新基地建設も政権交代が実現できれば、ただちに工事を中止し、アメリカ政府と粘り強い交渉を行う。これが当時の立憲民主党と沖縄県連の方針でした。岩国基地問題も私はこうした基地再編のなかで位置付ける必要があると判断しています。沖縄への負担を軽減しつつ、アメリカ政府との関係で、新しい方向をめざすことです。	(a)日米地位協定の改正を求める	(a)日本国憲法に反していること、(b)米側に基地の原状回復義務がないこと、(c)米兵・軍属が犯罪や事件・事故を起こした場合の裁判権の問題、(e)日米合同委員会の問題	日米地位協定の改正を求めて、足下の問題に対処するため運用改善の協議を積極的に行っていく。

大野頼子	送り先がわかりませんでした。
竹本秀之	
吉田真次	回答をいただくことが出来ません。



